

## サトイモ本番 出荷規格を確認

[小千谷里芋栽培組合]



▲サトイモの出荷規格を確認する生産者

10月8日(木)、サトイモ生産組織「小千谷里芋栽培組合」は、サトイモの目合わせ会を、JA千谷野菜集出荷場で開きました。生産者やJAの担当職員ら13人が参加。今年産の出来を確認するとともに、品質や大きさなどの出荷規格を共有しました。

目合わせ会では、同栽培組合の組合長で、農事組合法人うちがまき絆の佐藤正代表は「いよいよ出荷が始まる。品質確保のためにも疑問があったらJAに聞いて、品質の良いサトイモを出荷していこう」と呼び掛けました。

県長岡農業普及指導センター小千谷分室の柗澤桃子主査普及指導員は、収穫時の注意点について「霜に遭うと貯蔵中に腐敗しやすいので、降霜前に収穫を終了させよう。晴天日で株を半日ほど乾燥できる日を選んでほしい」と、対応を求めました。

同栽培組合は、生産者10人と1団体でつくり、栽培面積は1・3ha。品種は「大和早生」を栽培しています。

## 大日養鯉場に栄冠

[第49回JA錦鯉品評会]



▲総合優勝の「紅白」

10月25日(日)、第49回JA越後おぢや錦鯉品評会を、小千谷車輛農機センター前広場で開きました。今年の出品総数は338点で、総合優勝には三仏生の大日養鯉場(株)の「紅白」(70部)が輝きました。審査委員長を務めたJAの小林幸夫常務は「総合優勝の『紅白』は、白地の綺麗さと紅の厚みが際立っていた」と講評。同養鯉場は「総合優勝することができ、感激で胸がいっぱいです。これからもニシキゴイ原産地の誇りをもって精進していきたい」と、喜びました。

部優勝は次の通り  
(敬称省略)

70超部 昭和/おやし養鯉場/千谷  
60部 紅白/寅蔵浦川養鯉場/浦柄  
50部 紅白/半助篠清養鯉場/千谷  
40部 三色/星野サトル/千谷  
30部 五色/旬A・Oあおきや/片貝  
20部 紅輝黒竜/旬A・Oあおきや/片貝  
15部 紅白/小池久雄/谷内

## 米輸出協設立 28年産2000ト目標

[JA全農にいがた]



▲あいさつをする谷口会長

10月16日(金)、JA全農にいがたは、JAグループ新潟米輸出推進協議会を設立しました。平成28年産米で2000トの輸出を目標に活動します。

輸出用米は「コシヒカリ」を基本とし、生産数量目標から外れる水田活用米穀(新規需要米)で対応。新潟米の新たな需要をつくり出すため、段階的に輸出货量を増やしていく方針です。主食

用米だけでなく、業務用需要にも対応し、輸出拡大に

つなげます。

全農にいがたの米の輸出货量は、26年に64ト、27年(1~8月)に92・3トと着実に伸びています。

一層の拡大に向け、輸出用米の生産確保対策などに取り組む協議会を立ち上げました。新潟米の輸出先として香港、シンガポール、台湾、英国などを想定しています。

新潟市で16日に開いた設立総会には、会員組織である県内13JAとJA新潟中央会、全農にいがたの代表が出席。協議会の会長に当JAの谷口熊一組合長、副会長にJA新潟中央会の高橋一成専務が就任しました。

谷口会長は、TPP交渉の大筋合意で米輸入が増える恐れがあるとし「水田をフル活用し、地域農業、特に中山間地農業を守るため、輸出で米の需要を確保する重要性が増している」と強調しました。

## 新米の美味しさアピール



▲新米をほおぼるお子さん

10月7日(水)から7日間にわたり、「小千谷フェア」がイトーヨーカドー長岡店で開かれました。

同フェアは、新米の魚沼産コシヒカリを中心に小千谷の農産物や特産物が並び、多くの来店者でにぎわいました。店内では、JA女性部員が新米の試食を実施したほか、同部員が作った手芸作品などを展示し、女性部活動もPRしました。

## 新米求めにぎわう

[小千谷市農村都市交流協議会]



▲新米を買い求める来場者

10月10日(土)、小千谷市農村都市交流協議会は、「小千谷フェア」を杉並区の小千谷学生寮広場で開きました。

JA青年部らが参加し、新米の魚沼産コシヒカリを販売しました。会場は、新米を求める多くの区民らでにぎわいました。来場者からは「毎年、小千谷の新米を楽しみにしている」との声が聞かれました。

## Aコープ商品の製造工場を見学 [JAクッキング教室]



▲Aコープ商品の特長などを聞く参加者

10月8日(木)、JAクッキング教室のメンバーは、群馬県日帰り親睦旅行を実施し、小麦粉や乾麺などを製造販売する星野物産(株)を視察しました。  
同教室は女性部員や地域住民らで構成します。  
星野物産は「もちもちミルクパン」などのAコープ商品も製造するメーカーで、参加者は工場内で製造過程などを見学しました。

## 旅行を通じ親睦深まる [片貝中央支店年金友の会]

▶男鹿観光ホテルにて



10月12日(月)・13日(火)、片貝中央支店年金友の会は、親睦旅行「クラゲで人気の加茂水族館と男鹿温泉の旅」を実施しました。  
一行は、クラゲの展示種類数が世界一の加茂水族館で、クラゲが宇宙を漂うように泳ぐ姿に癒されました。また男鹿真山伝承館では、ナマハゲ行事の再現ショーを観賞。旅行を通じ会員相互の親睦を深めました。

## 献血活動に協力



▶献血に協力するJA職員

10月14日(水)、当JAは、社会貢献の一環で、献血活動をJA本店で行いました。地域住民やJA職員ら12人が協力しました。内訳は400ミリが11人で、200ミリが1人です。  
近年、献血者数は減少傾向にあり、中でも若年層の献血離れが著しいことから、JAでは積極的な協力を若手職員を中心に呼び掛けました。

## 葬祭接遇を実演



▲葬祭接遇コンテストに出場する当JA職員

10月1日(木)、JA全農にいがたが事務局を務める県系統経済事業推進協議会葬祭部会は、「葬祭接遇コンテスト」を燕市の「虹のホールあかり」で開きました。  
JA葬祭で施行業務を行う6JAとJA関連会社4社の10チームが集まり、当JAは葬祭課の職員3人が出場しました。同職員は、日ごろの業務で培った接遇技術などを実演しました。

## あっと驚く！珍しい野菜が大集合 ナニコレ珍発見

◀ミヨウガから葉っぱのお手て  
が生えました

提供：鈴木清さん  
／三仏生



▶サツマイモ1株でこ  
んなにいっぱいにな  
りました

提供：渡部明利さん  
／城内



◀足の長いニンジンさん  
提供：吉井徳一さん  
／片貝町



▶5本指のキノコ  
提供：佐藤春美さん  
／木津



## 魚沼 病院 よ お知り せ



### マンモグラフィー 検診について



JA新潟厚生連  
魚沼病院  
放射線科  
若山隆夫

乳がんは、女性のがん死亡原因  
の中では5位ですが、働き盛りの  
女性(30歳から64歳)の中では1位  
になっており、気にされている方  
も多いのではないのでしょうか。数  
年前までは20数人に1人と言われ  
ていましたが、最近では12人に1  
人とされ増加傾向にあります。

乳がん早期発見の手立てには自  
己触診や乳がん検診があります。自  
己触診ではマンモグラフィーが行わ  
れていません。

マンモグラフィーでは乳房を台  
で挟んで平たくし撮影しますが、  
厚みを薄くすることで被ばく量も  
減らせ、画質も良くなります。し  
かし痛みを伴う方もいらっしゃり、  
これには個人差がかなりあります。

特に生理前など乳房が張っている  
時は痛みを伴う場合がありますの  
で、生理が始まって2〜3日目以  
降に検査を受けた方が良いと言わ  
れています。

またX線を使用するため被ばく  
が気になると思いますが、一回の  
撮影で乳房が受ける放射線量は、  
東京―ニューヨーク間の飛行機中  
で受ける宇宙からの自然放射線量  
の約半分であり、健康に重大な影  
響を及ぼすことはありません。

撮影された画像からは、触って  
も分からないような早期の小さな  
乳がんや、しこりを作らない乳が  
んの影、非常に細かい石灰化など  
を見つけることができます。乳が  
んは早期に発見し早期に治療した  
場合、90%程度はほぼ完治すると  
言われています。気になったらま  
ず受診してください。

がんが見つかることを怖がる方  
もいらっしゃるかもしませんが、  
遅れて見つかることの方が怖い  
です。むしろ逆に見つけてやるこ  
という気持ちで自己触診を行い、積  
極的にがん検診を受けましょう。